

2025年 連続公開講演会 開催趣旨

統一テーマ：イスラームと仏教の対話

■開催趣旨

世界各地で宗教や文化の違いを背景とした対立や紛争が絶えない現代、「異なる信仰をもつ人びとは本当に理解し合えるのか」「宗教間の対話は平和に貢献できるのか」という問いが、多くの人びとの心に浮かぶ。グローバル化が進む一方で、人びとは他者への不安や偏見を強め、真の対話の可能性を見失いかけているようにも見える。いま私たちに求められるのは、たんに異なる宗教の教義や儀礼を比較し、その共通点や相違点を列挙することではない。むしろ、そこで見過ごされてきた問い、すなわち信仰をもつ人びとが実際にどのように生き、何を大切にしているのか、そして異なる信仰をもつ者同士がいかに協力し合えるのか、という問いに向き合うことではないだろうか。

東洋哲学研究所創立者の池田大作先生は、世界の多くの宗教者・識者との対話を通じて、宗教間対話の本質は抽象的な議論ではなく、人間のあり方という根源的な次元での相互理解にあることを示してきた。それは、信仰が個人の内面をいかに豊かにし、他者への慈悲や共感を育み、平和な社会の構築に貢献しうるかという実践的な課題である。本講演会で焦点を当てるイスラームと仏教という二つの伝統も、その本質において、人間の尊厳と平和を希求する点で深く通底している。しかし、表面的な理解にとどまるならば、その可能性は十分に発揮されない。

本講演会では、豊富な経験と学術的知見をもった学識者を講師に迎え、宗教間対話の意義と可能性を探究する。日常生活のなかでの交流、東南アジアやインドでの歴史的な接触、そして現代日本における共生の課題まで、多角的な視点から、イスラームと仏教の対話がいかに平和構築に貢献しうるかを、ともに考えていきたい。

以上